

# 環境報告書

## 2019 年度



2020年7月1日

---

株式会社宮城公害処理

# 組織の概要

(1) 事業所名	株式会社宮城公害処理
(2) 代表者氏名	代表取締役 菊地清一
(3) 所在地	宮城県仙台市若林区三本塚字荒谷 8 5 番地
(4) 事業内容	1. 産業廃棄物収集運搬業・処分業（中間処理） 2. 一般廃棄物の収集運搬業・処分業 3. 一般建設業（解体工事業、土木工事業他） 4. 浄化槽保守点検及び工事業及び清掃業 5. 計量証明事業 6. ディスポーザ排水処理システム維持管理業
(5) 資本金	10,000,000 円
(6) 設立	昭和 49 年 06 月 01 日 菊地清掃社 創業 昭和 55 年 12 月 03 日 有限会社菊地工業設立（資本金 50 万円） 平成 02 年 11 月 01 日 有限会社宮城公害処理 商号変更（資本金 300 万円） 平成 07 年 01 月 17 日 株式会社宮城公害処理 組織変更（資本金 1000 万円） 平成 15 年 10 月 31 日 仙台市産業廃棄物処分業許可 事業範囲変更 （処分方法及び処理品目の追加） 中間処理施設エコトピアミヤコー新設 平成 20 年 02 月 04 日 みちのく E M S 認証登録 取得 平成 28 年 04 月 25 日 仙台市産業廃棄物処分業許可 変更 （破碎施設の追加） 仙台市若林区卸町東 5 丁目 7-22 に 廃石膏ボードのリサイクル施設として 中間処理施設リサイクルミヤコー新設 平成 28 年 11 月 01 日 仙台市青葉区芋沢字赤坂中 65 番地の 2 より 仙台市若林区三本塚字荒谷 85 番地へ本店及び事務所移転 令和元年 6 月 25 日 破碎施設の追加 令和元年 12 月 6 日 焼却施設の廃止、破碎施設へ紙くずの追加
(7) 売上高	第 39 期 442,467,680 円（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日） 第 40 期 343,881,200 円（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日） この環境報告書は第 40 期の運用に関するもの
(8) 従業員数	21 名（内 パートタイマー 0 名）
(9) 事務所	事務所施設延床面積：129.60 m <sup>2</sup> （エコトピアミヤコー） 事務所設置延床面積：90 m <sup>2</sup> （リサイクルミヤコー）

# 施設概要と許認可・取扱い産業廃棄物

産業廃棄物処分業 許可番号：05420028670

許可行政：仙台市

有効期限：平成 29 年 1 月 18 日～平成 35 年 11 月 19 日

中間処理実績 2019 年度 (2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

<b>中間処理量</b>	<b>合計 2911.89 t</b>
	<b>エコトピアミヤコ-2715.66 t</b>
	(受託分 1.33+1715.123+124.113+55.772=1896.338 t)
	(自社請負分 5.39+813.932=819.322 t)
	<b>リサイクルミヤコ-196.23 t</b>
	(受託分 190.55+5.68=196.23 t)

## 中間処理場の所在、設備、処理能力、許認可

中間処理 (破碎) エコトピアミヤコ 3932.05 m<sup>2</sup> 宮城県仙台市若林区三本塚字荒谷 8 5 番地

一次破碎機 A 株式会社エイシン W-1600

一次破碎機 B 株式会社エイシン W-1600B

二次破碎機 C 古河ロックドリル株式会社 FPC1700

破碎機 株式会社新南 SNC1-800 (廃プラスチック類 (PP 製・PE 製・PVC 製配管材及びポリ容器類に限る))

廃プラスチック類	<b>3.700 t /日</b>
木くず	<b>11.640 t /日</b>
繊維くず	<b>2.640 t /日</b>
紙くず※令和元年 12 月 6 日追加	<b>2.640 t /日</b>
金属くず	<b>6.840 t /日</b>
ゴムくず	<b>3.700 t /日</b>
ガラスくず・コンクリートくず (工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く) 及び陶磁器くず	<b>8.340 t /日</b>
紙くず	<b>2.640 t /日</b>
廃プラスチック類 (PP 製・PE 製・PVC 製の配管材及びポリ容器類に限る)	<b>0.904 t /日</b>

中間処理 (破碎) リサイクルミヤコ 1667.01 m<sup>2</sup> 仙台市若林区卸町東 5 丁目 7-22

破碎機 株式会社細田企画 HI-09

一次破碎機 A 株式会社エイシン

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (廃石膏ボードに限る)

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (廃石膏ボードに限る)	<b>4.480 t /日</b>
-----------------------------------	-------------------

## 所有重機

形式	メーカー	機種	容量
MSP00458	キャタピラー	バックホウ	0.1m <sup>3</sup>
DCR01342	キャタピラー	バックホウ	0.2m <sup>3</sup>
B9X01494	キャタピラー	ホイローダー	1.3m <sup>3</sup>
FBJ04000	キャタピラー	バックホウ	0.45m <sup>3</sup>
FBJ02883	キャタピラー	バックホウ	0.45m <sup>3</sup>
YCW00613	キャタピラー	バックホウ	0.45m <sup>3</sup>
CPE03789	キャタピラー	バックホウ	0.25m <sup>3</sup>
CPE03833	キャタピラー	バックホウ	0.25m <sup>3</sup>
HSA01268	キャタピラー	バックホウ	0.25m <sup>3</sup>

## 収集運搬許可詳細

燃え殻  
 汚泥  
 廃油  
 廃酸  
 廃アルカリ  
 廃プラスチック類  
 紙くず  
 木くず  
 繊維くず  
 動植物性残さ  
 ゴムくず  
 金属くず  
 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず  
 鉱さい  
 がれき類  
 家畜ふん尿  
 ばいじん  
 石綿含有産業廃棄物  
 自動車破砕物  
 水銀含有ばいじん等  
 水銀使用製品産業廃棄物

県	許可番号	有効 期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	家畜ふん尿	ばいじん	石綿含有産業廃棄物	自動車破砕物	水銀含有ばいじん等	水銀使用製品産業廃棄物	
宮城県	00400028670	H29.3.28 H36.3.27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
山形県	0609028670	H30.3.5 H37.3.4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
岩手県	00300028670	H29.9.6 H36.9.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○
福島県	00707028670	H29.7.5 H36.7.2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

## 一般廃棄物及び産業廃棄物運搬車両（施設）の種類（車両形式・積載量）と数量（台数）・処理実績（産業廃棄物）

登録運搬車両（一般廃棄物・産業廃棄物）

#	車番	車種	最大積載量（kg）	長さ×幅×高さ
1	仙台 830 さ 503	2 t トラック	2000	4.48×1.74×1.49
2	仙台 100 は 609	11 t トラック	11000	9.05×2.49×3.04
3	仙台 100 さ 7490	4 t トラック	3500	5.92×2.20×2.41
4	仙台 100 さ 7800	4 t トラック	3500	5.92×2.20×2.41
5	仙台 100 は 1710	大型トラック	10200	7.43×2.49×2.93
6	仙台 800 さ 4703	3 t バックホム	3000	5.06×1.87×1.47
7	仙台 800 さ 7527	3 t バックホム	3000	5.04×1.88×2.13
8	宮城 800 さ 5653	3 t バックホム	2700	4.99×1.89×2.10
9	仙台 800 さ 8421	3 t バックホム	3000	5.10×1.88×2.28
10	仙台 800 さ 5208	4 t バックホム	3650	5.62×2.17×2.32
11	仙台 800 さ 7488	4 t バックホム	3700	5.46×2.15×2.27
12	仙台 800 さ 7931	4 t バックホム	3450	5.76×2.20×2.45
13	仙台 800 さ 7939	4 t バックホム	3700	5.46×2.07×2.33
14	仙台 100 す 4533	3 t トラック	3000	6.17×2.18×2.78
15	仙台 100 す 5183	3 t トラック	3000	6.18×2.18×2.71
16	仙台 400 た 2931	2 t ダンプ	2000	4.69×1.69×1.96
17	仙台 830 さ 3850	大型吸引車	7260	10.00×2.49×3.36
18	仙台 800 さ 3393	4 t トラック	2250	6.16×2.20×2.58
19	仙台 100 は 2339	重機運搬車	11800	11.53×2.49×3.37
20	仙台 480 か 3966	軽トラック	350	3.39×1.47×1.79

収集運搬設備

種類	規格	数量
産廃BOX	2.0 m <sup>3</sup>	500 台
脱着コンテナ(固形状廃棄物)	8.0 m <sup>3</sup>	10 台
	10.0 m <sup>3</sup>	14 台
	17.0 m <sup>3</sup>	1 台
	21.0 m <sup>3</sup>	1 台
脱着コンテナ(固形状廃棄物)	17.0 m <sup>3</sup>	1 台
	21.0 m <sup>3</sup>	1 台
ドラム缶（泥状・液状廃棄物）	200 リットル	10 缶
フレコンパック（固形状廃棄物）	1.0 m <sup>3</sup>	100 枚

## 実績

### 宮城県収集運搬実績

【収集運搬】宮城県 産業廃棄物種類	令和元年度(2019)												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
木くず	119.63	99.33	42.31	45.07	44.57	70.15	36.93	79.3	89.943	46.205	85.096	98.807	857.341
廃プラ	90.91	58.12	54.39	59.21	37.88	40.73	54.15	52.935	66.262	42.35	52.114	53.607	662.658
金属くず	14.293	14.013	19.073	27.914	13.914	13.194	11.604	6.993	4.247	10.686	5.754	9471	9612.685
紙くず	7.73	2.07	4.17	4.63	8.47	4.32	4	5.207	7.724	5.033	4.718	2.9	60.972
繊維くず	1.1	0.31	0.46	0.98	5.1	2.35	0.79	4.219	0.647	7.127	1.781	4.226	29.09
ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	66.39	100.57	103.74	58.36	47.18	77.68	82.84	114.13	117.627	68.796	107.977	102.1	1047.39
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	102.84	177.32	143.74	132.84	108.66	92.77	65.43	39.55	100.19	197.32	93.94	100.62	1355.22
燃え殻	0.37	1.13	0	1.66	3.54	0	0	0	0	0	0	0	6.7
ばいじん	0	0.6	0.87	0	1.41	0	0	0	0	0	0	0	2.88
汚泥	17.2	32.83	1127.29	112.84	1357.68	212.65	49.82	53.57	158.9	20.3	45.01	31.53	3219.62
家畜ふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	3.25	0	0	0	0	0	0	1.85	0	5.1
鉱さい	0	0	0	0	0.14	0	0	0	0	0	0	0.1	0.24
管理型混合廃棄物	30.66	27.58	29.5	67.85	41.04	60.99	61.03	59.97	52.83	82.66	69.12	67.64	650.87
水銀使用製品産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0.097	0	0	0	0.097
合計	451.123	513.873	1525.543	514.604	1669.584	574.834	366.594	415.874	598.467	480.477	467.36	9932.53	17510.863

### 山形県収集運搬実績

【収集運搬】山形県 産業廃棄物種類	令和元年度(2019)												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家畜ふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水銀使用製品産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水銀含有ばいじん等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理型混合廃棄物	0	2.69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.69
合計	0	2.69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.69

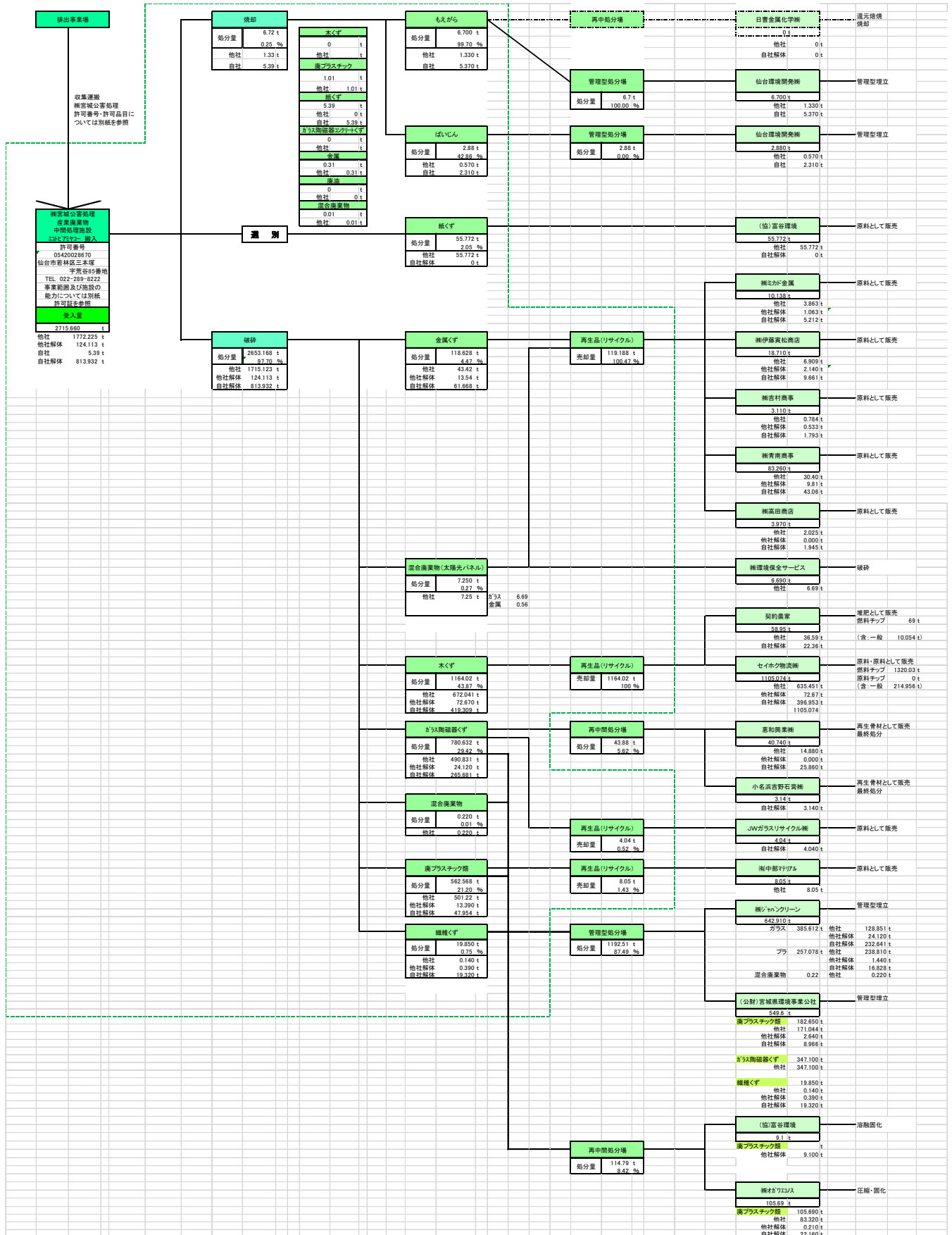
## 福島県収集運搬実績

【収集運搬】福島県		令和元年度(2019)											
産業廃棄物種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	0	0	0	0	0	3.14	0	0	0	0	0	0	3.14
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家畜ふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理型混合廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	3.14	0	0	0	0	0	0	3.14

## 岩手県収集運搬実績

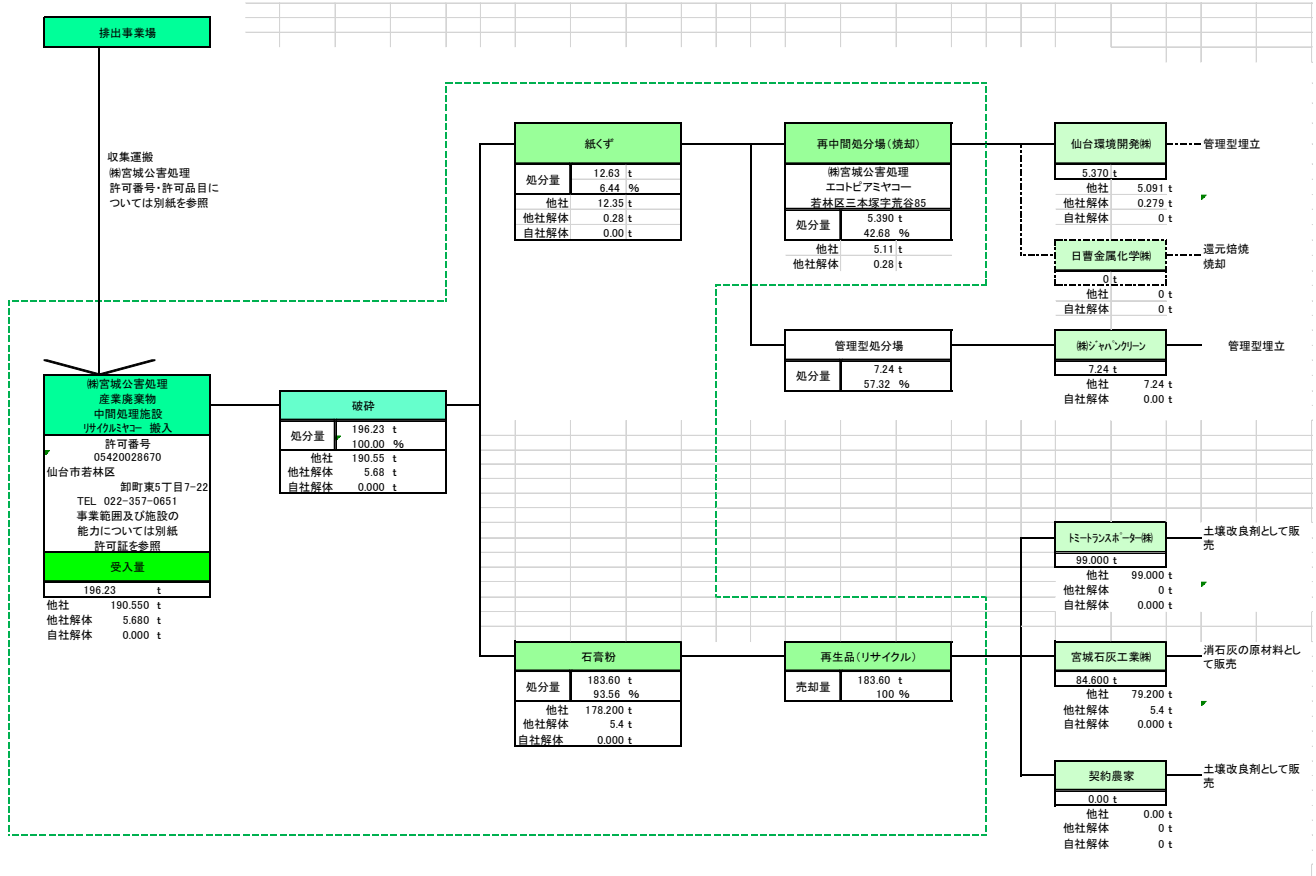
【収集運搬】岩手県		令和元年度(2019)											
産業廃棄物種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
木くず	0	0	0	0	0	0.59	0	0	0	0	0	0	0.59
廃プラ	0	0	0	0	0.17	0.34	0.17	0	0	0	0	0	0.68
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	0	0	0	0.77	1.98	0.39	0	0	0	0	0.1	5.82	9.06
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家畜ふん尿													0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理型混合廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0.77	2.15	1.32	0.17	0	0	0	0.1	5.82	10.33

# 処理工程図《エコピアマコー》2019年度（平成31年度/令和2年度）





処理工程図《リサイクルマコー》2019年度（平成31年度/令和2年度）



上記 処理工程図について	
「点線」の枠内	弊社中間処理範囲
「他社」	他排出事業者の廃棄物を収集運搬・処分、又は処分したものととなります。
「他社解体」	他排出事業者が元請となり、(株)宮城公害処理が収集運搬及び処分をした解体工事となります。 (下請として実施したもの)
「自社解体」	(株)宮城公害処理が元請となり、排出事業者・収集運搬・処分まで全てを行う解体工事となります。 (元請として実施したもの)

## 最終処分場所、方法及び処理能力

株式会社宮城公害処理 産業廃棄物中間処理施設 エコトピアミヤコー

最終処分先の番号 05420028670

所在地 宮城県仙台市若林区三本塚字荒谷85

処分方法 破碎もっぱら（人手により分別し再利用となる紙くずは行政指導により左記のように記入）

施設の処理能力 11.640 t / 日

株式会社宮城公害処理 産業廃棄物中間処理施設 リサイクルミヤコー

所在地 仙台市若林区卸町東5丁目7-22

処分方法 破碎

施設の処理能力 4.48 t / 日

仙台環境開発株式会社

最終処分先の番号 05440052901

所在地 仙台市青葉区芋沢字青野木457-1外15筆

処分方法 管理型埋立

施設の処理能力 3,210,708m<sup>3</sup>

(公財)宮城県環境事業公社

最終処分先の番号 0443004971

所在地 宮城県黒川郡大和町鶴巣小鶴沢字大沢 5

処分方法 管理型埋立

施設の処理能力 10,726,000m<sup>3</sup>

株式会社ジャパנקリーン

最終処分先の番号 05430009062

所在地 宮城県仙台市青葉区芋沢字青野木490-1他

処分方法 安定型陸上埋立

施設の処理能力 1,094,211m<sup>3</sup>

所在地 宮城県仙台市青葉区芋沢字青野木109番 1 他20筆

処分方法 管理型 陸上埋立

施設の処理能力 1,041,919m<sup>3</sup>

小名浜吉野石膏株式会社

最終処分先の番号 09420050518

所在地 福島県いわき市常磐水野谷町亀ノ尾85-2 外

処分方法 粉碎

施設の処理能力 120 t / 日

#### 恵和興業株式会社

最終処分先の番号 05420045090

所在地 宮城県仙台市泉区西田中字杭城山55-6

処分方法 破碎

施設の処理能力 156.8 t / 日

所在地 宮城県仙台市泉区西田中字杭城山47-1

処分方法 破碎

施設の処理能力 1200 t / 日

#### 株式会社オガワエコノス 仙台工場

最終処分先の番号 00423005189

所在地 宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目3番13

処分方法 破碎

施設の処理能力 54.48 t

#### 有限会社築館クリーンセンター

最終処分先の番号 00426029589

所在地 宮城県栗原市築館字高森49番地4, 5, 29, 30の一部、50番地の1の一部

処分方法 焼却

施設の処理能力 115.47 t / 日

#### 協業組合富谷環境

最終処分先の番号 00423062345

所在地 宮城県富谷市志戸田野田31番地1

処分方法 溶融固化

施設の処理能力 0.64 t / 日

#### 東北クリーン開発株式会社

最終処分先の番号 0641001942

所在地 山形県東村山郡中山町大字土橋字北ノ沢1146-3

処分方法 焼却

施設の処理能力 80 t / 日

#### 株式会社環境保全サービス

最終処分先の番号 00323082891

所在地 岩手県奥州市水沢佐倉河字向川原106番5号、106番7号他

処分方法 破碎

施設の処理能力 400 t / 日

---

## 廃棄物の処理料金

運搬距離、廃棄物内容、回収形態等により、都度見積もりをおこなう。

# EMS 関連情報

## 環境活動組織体制

環境管理責任者：菊地 大

担当者連絡先：菊地 恵巳

(TEL : 022-289-8222 FAX : 022-289-8223)

株式会社宮城公害処理 組織図				
				主な業務内容
代表取締役 最高責任者	本社	エコトピアミヤコー(仙台市三本塚)	総務部	2名 総務業務
環境管理 責任者			経理部	2名 経理
環境管理 事務局			業務部 1課	5名 解体工事
内部監査 責任者			業務部 2課	5名 清掃業務 (ビル排水管 貯水槽等) 一般廃棄物 収集運搬 (し尿)
			施設部 エコトピアミヤコー	5名 産業廃棄物の 収集運搬 中間処理
		リサイクルミヤコー(仙台市卸町)	施設部 リサイクルミヤコー	2名 産業廃棄物 中間処理
				7月31日

## みちのく EMS 登録情報

登録日 :2008年2月4日  
登録期限 :2020年2月3日  
登録番号 :07017  
登録範囲 :一般廃棄物収集運搬及び処分業、産業廃棄物収集運搬業及び処分業  
浄化槽保守点検及び工事業及び清掃業、建築物飲料水貯水槽清掃業、解体工事業  
一般建設業、計量証明事業、ディスポーザー排水処理システム維持管理業等  
対象事業所: 事務所・中間処理施設エコトピアマイコー 仙台市若林区三本塚字荒谷85  
中間処理施設リサイクルマイコー 仙台市若林区卸町東5丁目7-22

## 環境方針

# 株式会社宮城公害処理 環境方針

### 基本理念

株式会社宮城公害処理は、いつまでも緑豊かな美しい自然の姿「理想郷 ～エコトピア～」を創造し、輝ける私たちの子孫へ引き継ぐためには地球環境問題を永遠の課題とし、社員全員がこの意識のもとに、社内外におけるあらゆる活動を通して環境負荷の低減と環境保全の実現のため積極的に行動します。

### 基本方針

1. 株式会社宮城公害処理は廃棄物処理のパートナーとして環境及びその関連事業を通じ、環境保全への取り組みを社会に向けて積極的に展開します。
2. 環境目的と目標を定め、社員全員が一致団結しその達成に努力します。目標と目的は定期的に見直します
3. 株式会社宮城公害処理のさまざまな活動において発生する「環境に及ぼす影響」を常に把握し、特に次の事項に取り組むことで、汚染の予防並びに継続的改善を実行します。
  - ① 廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進
  - ② 省資源
  - ③ 省エネルギー
  - ④ グリーン購入の推進
4. 環境に関連する法規制、協定、及びその他の要求事項を遵守します。
5. この環境方針は、全社員に周知するとともにホームページにて一般に公開します。

平成21年8月1日改定  
株式会社 宮城公害処理  
代表取締役 菊地 清一

## 環境目的・環境目標（2019年度以降の環境目標・環境目的）

目的	基準年度 2018年	目標	項目	中長期目標			部門
				2019年度 2019年4月1日 ～ 2020年3月31日	2020年度 2020年4月1日 ～ 2021年3月31日	2021年度 2021年4月1日 ～ 2022年3月31日	
二酸化炭素排出量の削減への貢献	102,022 kwh	電気使用量 基準値－1%(毎年)	目標	101,001.78kWh 52,621.93kg-Co	99,981.56kWh 52,090.39kg-Co2	98,961.34kWh 51,558.86kg-Co2	ITト°アミヤコ サイケルミヤコ
二酸化炭素排出量の削減への貢献	146,211%	燃料使用量 基準値－1%(毎年)	目標	144,748.89% 371,115kg-Co2	143,286.78% 367,366.82kg-Co2	141,824.67% 363,618.177kg-Co2	ITト°アミヤコ サイケルミヤコ
再資源化への貢献	1154.54t	廃棄物排出量 基準値－1%(毎年)	目標	1142.99t	1131.45t	1119.90t	ITト°アミヤコ サイケルミヤコ
環境保全に貢献	38.10%	グリーン購入 毎年 目標値＋1%	目標	39.1%	40.1%	41.1%	ITト°アミヤコ サイケルミヤコ
廃棄物の排出抑制	少量のため排出量は把握していなかった	事業系一般廃棄物排出量 基準値－1袋（毎年）	目標	排出量把握	排出量把握	2020年度-1袋	ITト°アミヤコ サイケルミヤコ
資源の有効利用	-	節水活動 維持管理	目標	節水	節水	節水	ITト°アミヤコ
化学物質の適正使用	0 kg	購入量の把握 維持管理	目標	購入量の把握	焼却許可返上に伴い使用がなくなるため廃止	-	ITト°アミヤコ

## CO2 排出係数

電気：0.521 kg-Co2/kWh、ガソリン：2.32 kg-Co2、軽油：2.58 kg-Co2、A重油：2.71 kg-Co2

排出係数（ガソリン、軽油、重油）：<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran2019.pdf>

環境省 電気事業者別排出係数一覧 平成31年提出用

排出係数(電気)(東北電力)：[https://ghg-anteikohyo.env.go.jp/files/calc/h31\\_coefficient\\_rev.pdf](https://ghg-anteikohyo.env.go.jp/files/calc/h31_coefficient_rev.pdf)

## 環境目的・環境目標と実績（環境マネジメントプログラム）

2019年度環境活動実績（2018年4月1日～2019年3月31日）

目的	目標（年度）		実績	具体的施策	評価
二酸化炭素排出量の削減への貢献	電気使用量の削減	101,001.78kWh	92,736kWh	効率的な作業の徹底	達成
		52,621.93kg-Co	48,315.46Kg-Co		
二酸化炭素排出量の削減への貢献	燃料使用量の削減	144,748.89 ㊦	92,762 ㊦	アイドリングストップ エコドライブ 車両の点検・整備	達成
		371,115kg-Co2	237,151.8kg-Co		
再資源化への貢献	廃棄物排出量の削減	1142.99t	1201.22t	再資源可能なものは再資源化する分別の実施	達成
環境保全に貢献	グリーン購入 全体購入量に対する%	39.1%	28.1%	購入前にグリーン購入可能化の調査の実施	未達成
廃棄物の排出抑制	少量のため排出量は把握していなかった	排出量把握	3袋 (3カ月の実績) ※	弁当ごみ持ち帰る 飲料容器（缶類等はコカ・コーラ） 紙は指定業者にてリサイクル	達成
資源の有効活用	節水活動 維持管理	節水	実施達成	スプリンクラーによる節水散水 高圧洗浄車による節水洗浄 水の流しっぱなしがないか	達成
化学物質の適正使用	購入量の把握	購入量の把握	4100 kg	自動投入による適正使用 投入機の点検 購入量の把握	達成

※把握開始後、運用期間中の監視は3カ月間であったため

### 具体的環境活動の評価

電気の使用量の目標は達成できた。達成要因としては廃棄物の受入量が減少したことが大きく影響しているが、設備の更新もリサイクルミヤコーで行ったため根本的な電気の使用が数カ月間なくなり使用が減少した。このように複合的な要因が重なり使用量は減少した。経済活動を考えると作業効率の向上による削減ではなく基本的な受入量の減少による達成であった。

燃料使用量の目標も達成となった。達成要因はシンプルで解体工事が減少し、近場の収集運搬業務が増加したため二酸化炭素の排出は全体的に減少した。また、10月より焼却炉の解体申請を開始し、それに伴い使用も廃止したので重油の使用はなくなった。また、受託廃棄物の量が減少したことに伴い、燃料全般の使用量が減少傾向になった。

廃棄物排出量の目標も達成となった。受託物の量が減少した影響が大きかったと評価できる。焼却施設の解体に伴い最終処分の量は増加する傾向にあると思われたが、それ以上に受託量が減少したため最終的に減少で活動を終えた。

グリーン購入は、消耗品がなくなり次第発注するスタイルの為を取っている。未達成の要因は、単純にグリーン購入対象品目の消耗品の消費が少なかったことである。

廃棄物の排出抑制、事業系一般廃棄物の排出量の目標は、数量把握を始めた期間が3カ月であった。3カ月での使用数量は3袋である。これは今までは自社の焼却炉で燃やせたので数量を把握する必要がなかった。焼却施設解体に伴い、新たに数量の把握を始めた。

節水は、意識の維持は達成できた。

化学物質の使用の目標は、4100kgの使用であった。



## 2019 年度活動についての今後の課題

今後の活動については下記の表のとおり実施していく。

目的	目標	今後の課題（対応）
二酸化炭素排出量の削減への貢献	電気使用量基準値 - 1%(毎年)	継続
二酸化炭素排出量の削減への貢献	燃料使用量基準値 - 1%(毎年)	継続
再資源化への貢献	廃棄物排出基準値 - 1%(毎年)	継続
環境保全に貢献	グリーン購入毎年 目標値 + 1%	継続
廃棄物の排出抑制	事業系一般廃棄物排出量 数量の把握	継続
資源の有効利用	節水活動 維持管理	継続
化学物質の適正使用	購入量の把握	廃止

電気の使用や燃料の使用に関しては、効率的な処理を心掛け使用量の抑制に努めていく。再資源化への貢献は、焼却施設の解体後の活動となるため、新たな今までとは異なる結果になることが予想されるが、分別の徹底や売却先の開拓など精力的に行っていく。グリーン購入は、購入前に対象製品がないか確認して、対象製品がある場合は、予算内であれば積極的に購入していく。事業系一般廃棄物の排出については、基本、弁当ごみは持ち帰り、飲料容器も自動販売機の設置会社の引取となっているため排出抑制活動を維持していく。水の使用に関する目標は、継続した節水意識にて無駄な使用を防止していく。焼却施設の解体に伴い、今年度をもって化学物質の適正使用の目標は廃止となる。

---

## 環境関連法規の順守状況

2019年4月1日の遵守評価の結果、不順守事項はなく遵守義務は満たされていた。

## 内部監査の結果

実施日：2020年3月25日

範囲：エコピアミヤコー、リサイクルミヤコー

チーム編成：内部監査員2名

結果の報告：観察事項1件

## 外部審査（みちのくEMS）の結果

実施日：2020年2月5日

審査の結果：観察事項1件

## 最高責任者による全体の評価見直しの結果

EMSの活動は概ね達成できた。研修会や勉強会の質を向上させることにより、さらに管理の徹底ができる。見直しの結果、システムの変更は必要ない。

## コミュニケーション

- R1.8.27 宮城県産業廃棄物協会 (公社) 全国産業廃棄物連合会会長表彰受賞者皆様を囲む祝賀会
- R1.9.6 宮城県解体工事業協同組合  
「大気汚染防止法に基づく建築物解体工事前の石綿事前調査」及び「宮城県における3R等支援施策事業」の講習会
- R1.9.13 宮城県経済商工観光部 BCP訓練セミナー
- R1.10.4 伊藤建設 修栄会 修栄会設立11周年 懇親会
- R1.10.10 全環衛生事業協同組合 青年部視察研修会
- R1.10.17 宮城県解体工事業協同組合青年部会  
2019年度宮城県解体工事業協同組合青年部会移動研修会
- R1.10.23 (株)労働調査会 雇用管理研修
- R1.10.24 (一社)宮城県産業資源循環協会仙台支部 クリーン作戦
- R1.10.25 (公社)日本下水道管路管理業協会 令和元年度仙台市下水道防災訓練
- R1.11.5 仙台市危機管理室減災推進課 令和元年度津波避難訓練
- R1.11.19 協業組合 仙台清掃公社 創立50周年感謝の集い
- R1.11.27 日本下水道管路管理業協会  
「下水道管路管理マニュアル2019」及び「下水道管路管理積算資料2019」説明会
- R1.11.28 仙台市環境局 令和元年度「仙台市産業廃棄物セミナー」
- R1.12.2 伊藤建設 修栄会 役員会・懇親会
- R1.12.10 日本産業廃棄物処理振興センター  
産業廃棄物又は特別産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会
- R1.12.12 恵和興業(株) Xmasチャリティイベント
- R2.1.9 全環衛生事業協同組合 令和2年新春研修会並びに新年賀詞交歓会
- R2.1.29 宮城県環境生活部環境政策課 輸入業界における省エネ推進セミナー
- R2.2.7 宮城県解体工事業協同組合 令和2年新春講演会並びに賀詞交歓会  
2月以降新型コロナウイルス感染症のため中止